



特集 介護のしごと

日本では約210万人の方が、介護職員として活躍しています。老齢や心身の障がいなどで援助が必要な人を日々支える方々は、これからの社会においても欠かせない存在です。今回の特集では、介護業界にまつわるお話や現場で働く方の声を紹介します。

介護職員の職場・資格

介護サービスは、自宅で生活を送っている方や、施設に入所されている方がさまざまな形で利用しています。

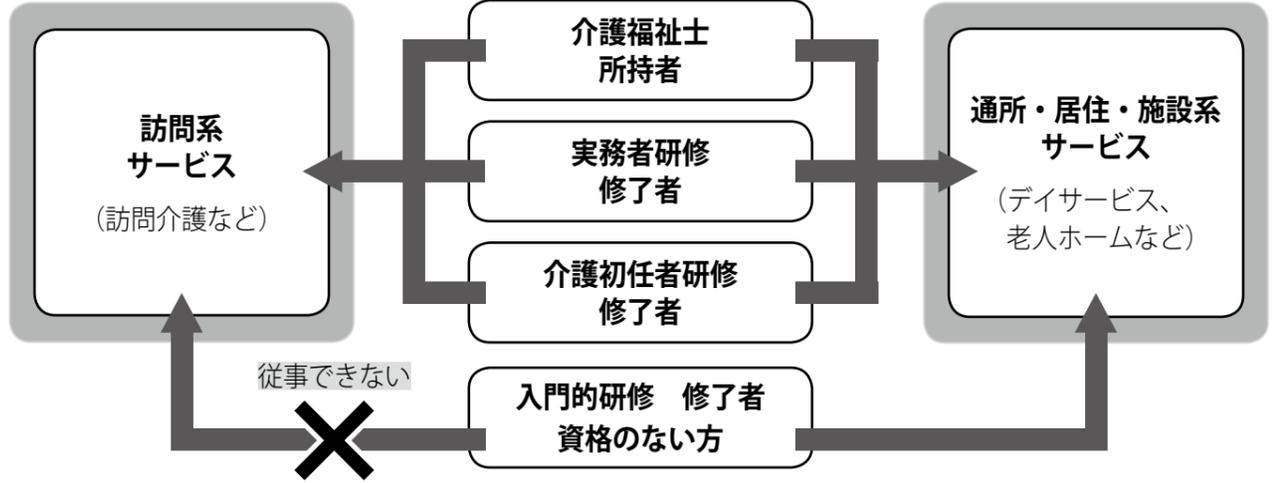
介護職員は、利用者一人ひとりの実情に合わせて介護サービスを提供することが必要のため、働く場所や勤務形態などは勤め先によって異なります。

また、介護業務には専門性が求められるものが多く存在します。このことから、「なにか特別な資格を持っていないければ、介護職員として働くことはできないのではないのか？」と考える方もいるのではないのでしょうか。介護職員の代表的な資格として挙げられるもの一つに、「介護福祉士」という国家資格があります。

それ以外にも、介護職員として業務に携わるうえで役に立つ・必要とされる資格などは段階的に存在し、身体介護をはじめ一定の実務経験や資格がなければ従事できない業務もあれば、未経験・無資格でも従事できる業務もあります。

下記の図は、介護職の主な資格とそれぞれが従事できる業務を簡略的に表した図です。

介護職の主な資格およびそれぞれの活躍の場



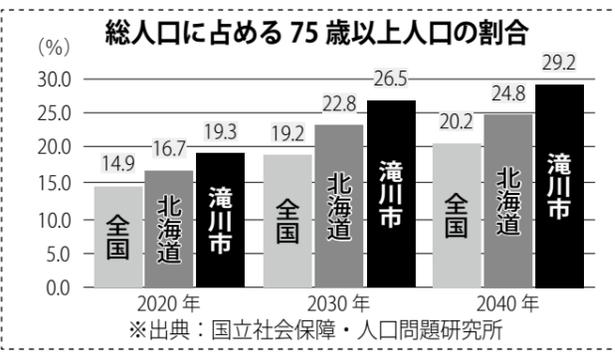
入門的研修

市では、介護未経験者が介護に関心を持つきっかけとして、日常生活で役立つ介護の基本知識・技術などを楽しく学べる入門的研修を実施します。

- 【対象】 市内在住または市内へ通勤、通学されている中学校卒業以上の方で、全日程受講できる方
- 【定員】 20人
- 【受講料】 無料
- 【申込期限】 8月31日(水)
- 【申込先】 滝川市社会福祉協議会 (Tel 24-8640)
- 【申込方法】 電話・二次元コードからお申し込みください。

日程	場所	予定時間	予定内容
9月10日(土)	滝川市民交流プラザ 交流ルーム3 (ホテルスエヒロ内)	9時30分～12時50分	介護に関する基礎知識・基本 (講義)
		13時40分～17時00分	基本的な介護の方法 (講義)、老化の理解 (講義)
10月1日(土)	滝川市民交流プラザ 小ホール (ホテルスエヒロ内)	9時30分～11時30分	基本的な介護の方法 (講義)
		12時30分～16時50分	基本的な介護の方法 (講義) (演習)
10月8日(土)	滝川市民交流プラザ 交流ルーム3 (ホテルスエヒロ内)	9時30分～11時30分	認知症の理解 (講義)
		12時30分～16時20分	認知症の理解 (演習)、障がいの理解 (講義)
10月15日(土)	滝川市役所 301・302会議室	9時30分～12時20分	介護における安全確保 (講義) ほか

※毎回、テキストの指定の部分を読んで、簡単なレポートを提出していただく自宅学習があります。



平均寿命が延び長寿社会となった現代、介護は誰にでもどの家庭にも起こり得る大きな課題といえます。滝川市は新規要介護認定者の平均年齢が81・8歳と算出されており、75歳を超えたあたりから、要介護認定者数は増加する傾向にあります。また、75歳以上の人口割合についても、引き続き増加すると推測されており、それに伴って介護の需要も増加することが予想されます。

介護需要の増加

一言に「介護」といっても、人によって支援する内容は異なります。利用者一人ひとりに寄り添った介護を提供するためには、介護分野や医療分野の方が互いに連携し合いながらサービスを提供する必要があります。下図は利用者に対し、各分野が担う役割を表したものです。介護職員は現場の最前線で利用者を支援する立場といえます。

介護職員の役割

年度	必要な介護職員数	不足する介護職員数
2019	211万人	—
2023	233万人	22万人
2025	243万人	32万人
2040	280万人	69万人

※出典：厚生労働省

介護職員確保の必要性

